

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	こばと児童館児童館事業	所管	市民経済部 こばと児童館
			TEL 2924-3065

事業の目的 (何の為に 行うか)	児童の健全育成を図るため、遊びを通じて健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域組織活動の育成支援や子育て支援を目的とすると共に、安全な場を提供する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	0歳から18歳未満の児童数(乳幼児については保護者同伴)	対象とした数	54,555	人
		実際に 利用した数	24,882	人

活動の内容 (何を したか)	1、体力増進活動(卓球等の指導・ペットボトルボーリング大会・縄跳認定会等) 2、情操を豊かにする活動(七夕祭り等・夏祭り・クリスマス音楽会・映画会) 3、ボランティアの育成活動(夏祭り開催時に自治会との連携及び学生ボランティアの受け入れ) 4、子育て支援活動(幼児グループ・ポップキッズ・ポップベビー・お話し会等)								
	活動実績	項目名	開館日数	293 ----- 単位 日	項目名	1日の平均利用者数	84 ----- 単位 人	項目名	主催事業

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	5,955	6,307	37,683	111.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用者	年間利用者数	28027 ----- 単位 人	24882 ----- 単位 人	88.7% ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕			
		終了	⇒ 事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了		
	予算	現状どおり	増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当部課	部課コード	030902	画	2924-3065
	030904	こばと児童館児童館事業	市民経済部	こばと児童館		
開始年度	昭和 55 年度	→	終了年度	平成 年度		
			グループ	児童育成グループ		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市児童育成環境整備計画(所沢市エンゼルプラン)・所沢市次世代育成支援行動計画						
	関連・類似事業	児童福祉法/所沢市立児童館設置及び管理条例/同施行規則						
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	1 子どもたちの健全育成	小柱
	H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 9 位		実施計画における位置づけ... H19 ○ H20 ○					
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
	コード		コード					
	事業開始の背景	都市化や地域の自然や遊び場の減少、核家族化の進行、女性の就労等の増加等により、児童を取り巻く環境が大きく変化してきているなかで、児童の健全育成を図るため、地域における児童健全育成の拠点及び環境づくりが児童福祉の立場から必要となった。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	児童の健全育成を図るため、遊びを通じて健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域組織活動の育成支援や子育て支援を目的とすると共に、安全な場を提供する。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 年間児童館利用者数			
	0歳から18歳未満の児童数(乳幼児については保護者同伴)	対象数	単位	平成 18 年度	54,823 人
				平成 19 年度	54,555 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	利用数	単位	平成 18 年度	25,505 人
				平成 19 年度	24,882 人
	1. 体力増進活動(卓球等の指導・ペットボトルボーリング大会・縄跳認定会等) 2. 情操を豊かにする活動(七夕祭り等・夏祭り・クリスマス音楽会・映画会) 3. ボランティアの育成活動(夏祭り開催時に自治会との連携及び学生ボランティアの受け入れ) 4. 子育て支援活動(幼児グループ・ポップキッズ・ポップベビー→お話し会等)				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	平成19年度中に改善した点	・所沢市児童安全管理マニュアルの内容を再検討した。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		5,796	5,955	6,402
	決算(見込み含む)		5,625	6,307	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(1.30 人)	(人)	(1.00 人)
	正規職員人件費	2.30 人	21,160	3.34 人	31,376
	公債費				
	事業費合計		26,785	37,683	
	財源内訳	一般財源	26,785	37,683	6,402
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		79.3	111.1	
	利用者一単位あたり(単位:円)		1,050.2	1,514.5	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	開館日数	開館日	日	294	293	293	293
		1日の平均利用者数	年間利用者数/開館日数	人	86	84	90	95
		主催事業	年間実施回数	回	132	191	190	200
成果分析	利用者	年間利用者数	人	目標値	28,026	28,027	28,000	28,000
				実績	25,505	24,882	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	達成率	91.0%	88.7%		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
明らかとなった課題	児童館は、児童の安全・安心な居場所づくりとして、今後さらに地域福祉の拠点として求められている。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	できるだけ多くの児童と深い関わりを持ち、乳幼児及び保護者にとって、やすらぎの場所となるよう努力する。	児童及び乳幼児の心と身体の健全な発達をめざし、同時に保護者に快い生活を与える。	年度末	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	児童館は、児童に健全な遊びの場を提供し、さらに乳幼児の育成支援や中高生を対象とした居場所づくりまで、児童の年齢に併せて、指導や活動を行っている。さらに自治会など地域との連携を図っており、今後さらに児童の健全育成の拠点づくりとして求められている。				
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	館長 新井 耕次		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了							
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
	評価理由	評価日							
	評価理由	評価日	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				